

第26期 第2回 材料工学委員会・臨床医学委員会・歯学委員会・ 化学委員会合同 バイオマテリアル分科会 議事要旨

1. 日時 令和6年5月20日(月)16:00-17:52
2. 場所 オンライン開催 (Zoom)
3. 出席者 (敬称略) 秋吉一成、鮎川保則、石原一彦、石川邦夫、宇尾基弘、大矢根綾子、
片岡一則、菊池明彦、岸田晶夫、斯波真理子、田畑泰彦、中野貴由、
埜 隆夫、廣本祥子、松下伸広、松本卓也、丸山 厚、三浦永理、
三浦佳子 (以上19名)
オブザーバー (敬称略) 井藤 彰、岸村顕広、鈴木 治、松岡由貴
欠席者 (敬称略) 丸川恵理子
出席委員19名 欠席委員1名 オブザーバー4名

4. 議事

(1) 自己紹介

前回欠席委員からの自己紹介があった。

(2) 委員の追加と特任連携会員の承認について

埜委員長から本分科会3名の委員、特任連携会員1名の追加について、5月末の学術会議本会で承認される見通しであること、また、特任連携会員の任期が全期に及ぶことの説明があった。このため、井藤、岸村、鈴木、松岡の各委員候補について、今回はオブザーバーでの出席となった。

(3) 公開シンポジウムについて

埜委員長から幹事会での議論を元に作成した公開シンポジウム案(11月仙台)について説明があった。今回のシンポジウムは生体医工学分科会(委員長 松本健郎 名大教授)との共催という位置づけで行うことが認められた。議論のもと、シンポジウムプログラム案が修正された。最終のシンポジウムプログラムについては委員長に一任することが了承された。

また、各関連学会へ協賛依頼をするにあたり、各学会への連絡担当者を決定した。最終プログラムおよび協賛の決定をもとに松本委員が本シンポジウムのポスター製作を担当することになった。

(4) 意思の表出について

今期の意思の表出については、各委員からのボトムアップ的な提案を期待する旨、埜委員長から説明があった。提案は1つにまとめるのではなく複数でも可ということ、また、秋頃開

催予定の次回分科会を目処に構想を練っておくよう説明ならびに依頼があった。早速、石川委員から骨補填材関連の内容で準備する旨、提案があった。

(5) その他

各委員から今後のバイオマテリアル研究の在り方について、種々意見をいただいた。

以上

文責 岸田晶夫・松本卓也